

デザイン材料演習Ⅱ 評価ルーブリック

評価項目	S・A	B	C	D
糸と織り技法の特性を理解し、面から立体造形を制作することができる。(渡邊担当分)(C-2)	糸や織り技法に興味関心を持ち、特性を理解し、自分で良く考え、面から立体造形を制作することができる。	糸と織り技法の特性を理解し、自分で良く考え、面から立体造形を制作することができる。	糸と織り技法の特性を理解し、面から立体造形を制作することができる。	糸や織り技法の特性の理解や、面から立体造形を制作することができない。
織技法を使って色彩を表現することができる。(渡邊担当分)(C-2)	織技法を使って、積極的に色彩を使用し、テーマに沿った色彩を使用することができる。	織技法を使って、積極的に色彩を使用し表現することができる。	織技法を使って色彩を表現することができる。	織技法を使って色彩を表現することができない。
異なる2種類の素材を組み合わせ、ユニットを作成することができる。(島田担当分)(C-2)	異なる2種類の素材を組み合わせ、大きさや形状の等しいユニットを作成することができる。	異なる2種類の素材を組み合わせ、大きさや形状がある程度揃ったユニットを作成することができる。	異なる2種類の素材を組み合わせ、ユニットを作成することができる。	異なる2種類の素材を組み合わせ、ユニットを作成することができない。
複数のユニットを連続して構成することにより、立体造形を制作することができる。(島田担当分)(C-2)	複数のユニットを連続して構成することにより、テーマに沿い、かつ完成度の高い立体造形を制作することができる。	複数のユニットを連続して構成することにより、テーマに沿った立体造形を制作することができる。	複数のユニットを連続して構成することにより、立体造形を制作することができる。	複数のユニットを連続して構成することにより、立体造形を制作することができない。
自作した立体造形の制作意図を説明することができる。(渡邊・島田担当分)(C-2)	発表で熱意や思いを込めて聴衆が内容をよく理解できる発表をすることができる。	発表で、内容が聴衆に伝わるように発表することができる。	発表することができる。	成果を発表をすることができない。